

「大東市版ブロックチェーン構想 ～明星金属工業株式会社編～」

大東市版ブロックチェーン構想の一環として、「ものづくりコネクト」に参加頂いている企業の発信内容をご紹介します。

第8回は、「明星金属工業株式会社の技術に迫る！」

明星金属工業(株) 技術部の西岡様、山部様を取材し、技術部の強みとこれからの技術部の取り組みについて聞かせていただきました。



西岡様(写真左):入社 38 年目。30 年以上製造業務に従事され、2021 年から技術の責任者として活躍されています。

山部様(写真右):入社 25 年目。入社以来技術部で設計業務に従事。技術部の熟達者として日々課題解決に取り組まれています。

「技術の段取り」と「製造の加工精度」

この二つが強みだと話すのは西岡様。

金型業界は国内、海外ともに競合が多いため、納期と精度は大前提必要になります。限られた時間の中で、失敗ができないから状況だからこそ、明星金属工業(株)では 1950 年の創業以降、自動車業界の一次下請け企業として日々試行錯誤をされてきました。

その中でも近年特に注力されているのはシミュレーションツール、3次元モデルの活用です。

明星金属工業(株)では20年以上前から、シミュレーションツール、3次元モデルの導入を進めており、成型時の不具合検証、設計段階で不具合の潰し込みをするフロントローディングの取り組みを実施しています。

「特にこの3年でよりシミュレーション精度が上がってきた」と、山部様は自信を持って話します。20年間分の蓄積データを活用され、段取りと加工精度に反映できていることが、明星金属工業(株)の強みです。

現場のやりきり力と独自の社内検定

「現場の段取りは改善の余地がありますが、絶対にやりきる力を持っています。」と話すのは山部様。機械加工から溶接、磨き工程、修正まで、金型の製造に関する全てが明星金属工業(株)の絶対的な強みです。

この現場の方々のやりきる力と、持ち合わせた技術の背景には、独自の社内検定制度があります。

【社内検定制度の賞状とワーク】



明星金属工業(株)では、約 10 年間、自動車メーカーを招き、新人の方々に向けて様々な技術指導を実施。また、この取り組みを社内で研修化し、検定制度として定着させていきました。

さらに、大阪府内で高い技術を持った技術者に贈られる「なにわの名工」も現在 8 名在籍されており、現場の方々の力は広く認知されております。

【なにわの名工受賞者の賞状】



今後の展望

明星金属工業(株)では金型の高品質と短納期対応を実現するべく、「Smart Build and Complete プロジェクト(SBC)」を技術部の方々を中心に取り組まれています。

「SBC を実現するために、IT ツールへの投資、人材の育成に加え、全部署、更にはお客様も巻き込んで、もっともっと改善活動を進めていく必要があります。困難な道にはなりますが、絶対に進めていきます。」と、西岡様、山部様は意気込んでいます。

明星金属工業(株)のさらなる発展にご期待ください！